



Walk with Children

めぐろ

大人 子供

せいび

201 号
2024 年 5 月

「わたくしは主のはしためです。

おことばどおり、この身になりますように。」

ルカによる福音書 1 章 38 節

校長 シスター小島 理恵

5 月は「聖母月」と言われています。「青葉若葉に風香りて せせらぎに聞く 奇しき調べ〜」美しいメロディーの伝統的なカトリック聖歌もあります。ひと雨ごとに木々の新芽が大きくなっていくのを見ながら、子どもたち一人ひとりの顔を思い浮かべ、その成長を祈るこの頃です。新しい気持ちでスタートした今年度、子ども達は徐々に学級にも慣れ、新しい友達もできて、楽しそうに過ごしています。

5 月はサレジアンにとって特色のある月です。6 日はドン・ボスコのオラトリオに通っていた聖なる少年ドメニコ・サヴィオのお祝い日、13 日は共創立者マリア・マザレロのお祝い日、そして、24 日は私たちをいつも守り導いてくださる扶助者聖母マリア様のお祝い日です。サレジアンならではのお祝い日が続く今月、きっとたくさんのお恵みが注がれることと思います。23 日の聖母祭では、保護者の皆様にもお越しいただき、共に祈りを捧げ、教育共同体が心一つに祈ることができる素晴らしい一日となりました。

コンネッショナー

Conessione ~つながり~

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

「あなたがたに平和があるように。

父がわたしをお遣わしになったように、
わたしもあなたがたを遣わす。」

ヨハネによる福音書 20 章 19~23 節

教会ではミサの終わりに、神父様が私達に派遣の祝福をなさいます。私達は神様から遣わされた存在であり、私達には、神様にいただいた使命があります。使命に気づき、自覚し、それを生きていくかどうかを決めていくもの、それは教育によるものが大きいと思います。

カトリックの洗礼には、「幼児洗礼」があります。まだ信教の意志を表せない生まれたばかりの赤ちゃんが洗礼を受けます。この時には、本人の意志ではなく、親がどのような価値観や信教に基づいて育児を行うのかを宣言します。

カトリックミッションスクールにおいて 6 年間で過ごす子ども達が、学校と家庭での両生活の中で、自分が神様にいただいた使命に気づき、生きていくことができますように、このみことばを噛みしめ、来月 6 月の、みこころの月を過ごしてまいりましょう。

入学式

4月8日

喜びに満ち溢れた1年生が入学式を迎えました。緊張した様子で正門をくぐった1年生も6年生の温かい声かけや案内を受けて、ほっとした表情になりました。107名の新入生が目黒星美に仲間入りです。



対面式

4月9日

全校児童で1年生を迎える対面式。1年生は、ペアの6年生と共に喜びを感じながら体育館に入場しました。2年生が作ったメダルを首にかけてもらい、3年生からは歓迎の言葉のプレゼントがあり、4年生のリコーダー演奏や5年生、6年生の歌の演奏などを楽しみました。



2年生になって

2年生

ぼくには、2年生になってがんばりたいことが4つあります。1つ目は、先生のはなしをよく聞くことです。2つ目は、かえりの会の時にわすれものをしていないか、もう一ど見なおすことです。3つ目は、時間のつかいかたを考えることです。そして4つ目は、2年生なので、1年生にやさしくしたいということです。

ぼくは、学級いいんにもなったので、クラスのためにがんばりたいです。

最高学年になって

6年生

私は6年生になって、先輩たちがやってくれていたことがたくさんあることに気づきました。1年生のお世話を昨年の6年生はいつも笑顔で階段を上がってきていたので楽しいのかな、と思っていました。実際にやってみると、うまく1年生と話ができなかつたり、自分自身も迷ってしまうことがあつたりしました。けれど、意識を持って行くと1年生とも仲良くなってだんだんとお世話が楽しみになりました。1年生は自分が教えたことを覚えて、自分でもやりたいと言ってくれてうれしくなりました。少しでも1年生にとって小学校の思い出として残ってくれたらいいなと思います。卒業まで学校のために自分にできることを精一杯やっていきたいです。

新1年生の保護者より

桜舞う4月、沢山の笑顔の子ども達が星美の仲間となりました。入学式では、みな緊張した面持ちでしたが、翌日の対面式で上級生に温かく迎えられたことは大変心強く、子ども達の張りつめていた気持ちもさぞかし和らいたことと思います。保護者席からは上級生の一生懸命な様子もよく見えました。心を込めて真剣に発表した後は、素早く定位置につき、リズムに乗って楽しそうにトンネルを作る姿を見ながら、先生方が日々寄り添ってくださる温かい環境の中で、仲間を思いやる心だけでなく、下級生に対する責任感も着実に身につけていることを実感致しました。

娘は、入学前は、友達できるかなあ？と不安気でしたが、「初めてバナナ鬼ごっこをしたよ。」「休み時間に隣のお友達と、好きな物とか髪型の話をしていて楽しいよ。」と話しており、学校生活をさっそく楽しんでおります。小学校という子どもの成長にとって大切な時間を星美で過ごせることに改めて感謝し、まずはこの1年、健やかに明るく楽しい毎日を過ごしてほしいと願っております。

1年生保護者

